

KUYC LETTERZINE



京都大学体育会ヨット部 活動報告

□団体戦予選 □個人戦予選 □琵琶湖選手権 □部員リレーインタビュー □今日のマネ飯 2020.10.1

[Vol.019]



優勝を喜ぶスナイプチーム、本選にも期待大です

全日本インカレ団体戦予選@柳ヶ崎

団体戦予選は9月25日から27日の3日間、珍しく風待ちもなく、どの日も順調にレースが行われました。

1日目は北東の風で4レースを消費しました。吹く頻度が低い風向での軽風という難しいコンディションの中でしたが、スナイプクラスは順調な滑り出しとなりました。470クラスは思ったような結果を出せず、追いかける展開となりました。スナイプクラスは、立命館、同志社、京大がいかにか3艇ともをシングルでまとめるか、の戦いになっていました。470クラスでは同志社が圧倒的な速さを見せ、立命館・金沢大・京大が残る2枠の本選出場枠をめぐる競う展開となりました。

2日目は南風の順風で4レースを消費しました。スナイプクラスは1位立命館と僅差の2位につけることができました。470クラスは苦戦を強いられ、3位金沢大との差が開く展開となっていました。3日目は北西の風で、風量の強弱・風向の変動ともに激しいコンディションの中、2レースを消費しました。結果、スナイプクラスは1レース目で逆転しそのまま優勝、470クラスは差を詰めたものの4位となりました。

470クラスの全国大会への出場は叶わず、同クラスの4回生は引退が決まりました。近年では予選突破は当然のようになっており、現役部員にとって予選敗退は初めての経験で、当予選にかかっていたものの大きさを、失ってから再認識することになりました。この結果は、470クラスとしてだけではなく、部全体としての敗北であり、足りないところがあったことを表していると思います。今後、この結果を重く受け止め、さらなる活躍ができるよう努力して参ります。また、スナイプチームは本選での優勝を目指してこれからも邁進してまいります。最後になりましたが、応援してくださった、OB、コーチ、保護者の皆様大変ありがとうございました。



予選を2位で通過した470級の高山・鈴木ペア

全日本インカレ個人戦予選@柳ヶ崎

85代にとって初の学連レースとなる個人戦予選は9/19、20の2日間、琵琶湖で行われました。1日目は西と北東、2日目は南西の風が吹き、風の触れや、強弱の激しい非常に難しい不安定なコンディションでのレースとなりました。

部全体としては470、スナイプともに1艇ずつの突破という結果となりました。スナイプ級で突破した、4回生クルーの金岩は、「同期の福矢とのペアでレースに挑みました。個人戦の予選ということでしたが、出場枠とかはあまり気にせずいつも通り頑張ろうと話して、とても落ち着いてレースをこなすことができました。その結果安定した順位を保つことができ、予選を突破することができました。まだまだミスも多くあり、船の方もレース5日前に届いた新艇ということで船の持つポテンシャルを引き出せていなかったと思うので、しっかり反省をしもっともっと力をつけていきたいと思います。」と語ってくれました。

今回は非常に難しいコンディションでのレースで本来の実力を発揮できなかったペアも多くいたと思われます。しかし、その中でも大きく叩かず安定した順位をとれるペアや1日目の反省を活かして2日目にしっかり成績を上げてきたペアもありました。長い自粛期間があり、ヨットに乗れていなかったため、成長する伸び代は他大学に比べて大きいことも考えると、チーム全体でみた実力は強豪と呼ばれるような大学に全く劣っていないはずです。次こそはチームみんなで喜べるように全体としてにパワーアップしていきたいです！

～大会運営ご協力への謝辞～

8月末に活動を再開し、9月に入ると、琵琶湖選手権、個人戦予選・団体戦予選と3レガッタが開催されました。いずれの大会も運営が集まりにくいなか、京大ヨット部の多くのOB・OGの方々の協力があったからこそレースが成立していました。皆様の貴重なお時間を割き、レースができる環境を整備していただいたおかげで、現役部員はかけがえのない経験を積むことができました。皆様の温かいご協力に現役一同感謝しております。

日々練習に励んでいる部員の生の声をお届けします。
今回は85代主将・470クルーの藤田裕へのインタビューです。



85代主将・470クルー

藤田 裕

1997年滋賀生まれ。
洛南高校出身。
京都大学工学部工業
化学科
プロテインを相棒に、
クルーとしても主将
としても大きくなっ
た熱男。

**Q. プレーヤーとしての
強み、練習で意識する
ことは？**

A. 強みかはわかりませんが、自分より上手い人の動画を研究して動きをまねることは得意です。470クルーは他のポジションに比べて体の動きで船をコントロールする要素が多いので、タックやジャイブなどの動作はもちろんですが帆走中の一挙手一投足もまねて練習していました。特にランニングの体の動かし方はスピンのパワー感と船のスピード感、波の方向に合わせて細かくする必要がありますため、YouTubeに載っているオリンピック選手の動きはかなり勉強しました。

Q. これまでの部活を振り返って

A. 高校時代に部活に入っていなかったこともあり、大学の体育会の部活を4年間続けられるか不安に思っていた時期もありましたが、ヨットがとにかく楽しくて、そしてヨットが自分を夢中にさせてくれたおかげで苦しいことも面倒くさいことも忘れさせてくれ、気づけば4回生になり、インカレまで残り僅かとなりました。人の縁にも恵まれ、最高の環境でヨットに打ち込めていることに感謝し、引退まで自分がやるべきことを全力でやっていきます。

Q. インカレ本戦に向けての意気込みを聞かせてください。

A. 先日の団体戦予選でスナイプクラスが優勝した一方で470クラスが全国出場を逃し、総合3位という目標に挑戦することは出来なくなりました。この1年間は総合成績のこののみを考えて過ごしてきたため、470クラスの予選敗退を受けて自分の無力感や責任を感じています。しかし、あと1か月で全国大会が始まるので1日も無駄にすることなくスナイプクラスのクラス優勝という目標に貢献できるようにレースメンバーのサポートをしていけたらと思います



どんなスキッパーとも走れる、柔軟なクルーワークが素敵でした

琵琶湖セーリングチャンピオンシップ

二回生470クルーの實松大介です。琵琶湖セーリングチャンピオンシップは9/12,13の二日間で計7レース行われました。新型コロナウイルスの影響で今年の4月頃から活動を自粛していたため部全体としてのレースは昨年11月末のプレプレ以来のものとなりました。そのため今年練習してきた成果を見せる場として、多くの部員がこのレースに向けて意気込んでいました。初日は5mほどの南風が入ってくる予報でしたが一日を通して風があまり安定しない微風の中4レースが消化されました。難しい風の中、自身の艇も含めて試合で走ることの難しさを実感しました。練習での帆走ではもっと走れているのにと悔しさを感じるとともに実践ならではの課題が見つかるなど、次に向けてつながるレースとなりました。今回の反省を生かしてこれから練習に励んでいきたいと思います。



マネージャーが参加できず、沖での写真が無いー

スナイプ新艇購入・基金への寄付のお礼

皆様からの寄付金をもとに、春の470新艇購入に引き続き、スナイプも新艇を購入しましたことをご報告させていただきます。また、先月は特に寄付金が多く寄せられ、部員一同感謝しております。コロナ禍で当部の活動も翻弄されていますが、皆様のご支援によって支えられています。今後ともよろしくお願いいたします。

今日のマネ飯 today's dinner

部員たちの体調を支える毎日の食事。その中の一つを紹介します。

～レモンサマートルネード～

今回は京大ヨット部の夏に食べたくなるメニュー第1位のレモンサマートルネードを紹介したいと思います。レモンをたくさん使っているのを見た目も味もさっぱりします。琵琶湖はまだまだ日差しが照りつけて日中は残暑が厳しいです。そんな練習で疲れた体にぴったりのマネ飯です。

2回生
マネージャー
野阪悠美子

京都大学体育会ヨット部
滋賀県大津市鏡が浜番外地
京大ヨット部艇庫
[tel] 077-525-0312
[hp] <http://www.kuyc-home.com/>
[mail] kuyc.2013@gmail.com
[twitter] <https://twitter.com/kuyc>
[facebook] https://www.facebook.com/kyoto_sailing/?fref=ts
[instagram] https://www.instagram.com/kuyc_food/?hl=ja

過去のkuyc letezineはHPからご覧になれます。